

■ 木製の楽器について

温度・湿度の調整

木製の管体やパッドは天然の素材でできており、温度や湿度の影響を受けやすいので、定期的な調整が必要です。以下のような症状が現れた場合は、お買い上げ店または弊社サービスセンターへご相談ください。

- 接合部がきつくなった。
- 音が出にくくなった。
- パッドの表面が切れた。
- キーの雑音が大きくなった。
- 管体が割れた。

管体の割れ

木製の管体は温度、湿度の影響で割れる場合があります。以下のことに気をつけると、割れの予防になります。

- 急激な温度変化を避ける。
- トーンホールから水が出ないように、こまめに羽やスワブを通す。
- 使用後は水分を良く取り、ケースに入れて保管する。
- 特に新しい楽器は長時間使用しない。

割れてしまっても、早期に的確な修理をすれば問題なく使い続けることができますので、お買い上げ店または弊社サービスセンターへご相談ください。

■ グリーンラインについて



オーボエ、クラリネットの主たる原料であるグレナディア材の粉末を特殊加工した素材です。

- 通常の木製の楽器と比べて材質が均一で、比重の違いによる独特の音色、吹き心地があります。
- 温度、湿度の変化による影響が緩やかです。
- 楽器の素材として優れた特徴と強度を持っていますが、衝撃を加えると接合部が折れる場合があります。転倒や落下、譜面台等との接触に充分ご注意ください。
- 接合部がきつくなった場合はお買い上げ店または弊社サービスセンターへご相談ください。

■ 銀めっき仕上げについて

めっき加工されている金属部分はその性質上、ご使用にともない変色、摩耗します。

また、ゴム製品、石油製品、排気ガス、火山性ガスなどに含まれる硫化ガスにより変色することがありますが、ご使用には影響ありません。

金属部分の腐食、摩耗が激しい場合はお買い上げ店または弊社サービスセンターへご相談ください。

■ 注意事項

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 小さな部品を誤飲する恐れがあるため、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 針のように鋭い部品を使用していますので、扱いには充分注意してください。
- 破損がある場合は、使用を中止してください。

掲載コンテンツの内容、テキスト、画像等の無断転載を固く禁じます。

BUFFET CRAMPON

株式会社 ビュッフェ・クラムポン・ジャパン

〒135-0016 東京都江東区東陽4-8-17
TEL.03(5632)5511 FAX.03(5632)5526

営業時間 10:00~18:00(日・月曜日、祝日定休)

ショールーム	TEL.03(5632)5728
サービスセンター	TEL.03(5632)5524 (10:00~17:30)

取り扱い説明書

〈ビュッフェ・クラムポン〉

オーボエ



掲載コンテンツの内容、テキスト、画像等の無断転載を固く禁じます。

BUFFET CRAMPON

Oboe

オーボエ



掲載コンテンツの内容、テキスト、画像等の無断転載を固く禁じます。

■ 組み立て

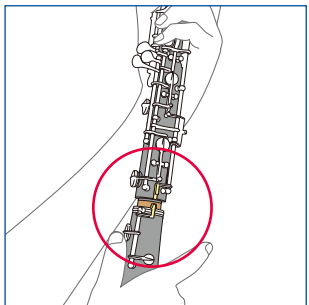
キーに過度な力が加わらないよう、注意しながら組み立てます。また、各連結キーが正しい位置にくるよう、注意してまっすぐ差し込んでください。

1. 各接合部のコルクに指で薄くコルクグリスを塗ります。

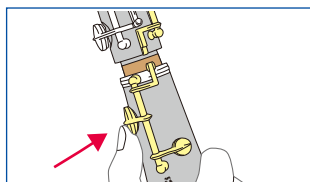
※ コルクグリスは毎回塗る必要はありません。楽器が新しいうちや組み立てる際にギシギシ音がするような場合にご使用ください。

それでも接合部がかたく組み立てにくい時は、無理せず専門の技術者に調整してもらいましょう。

2. ベルと下管を組み立てます。

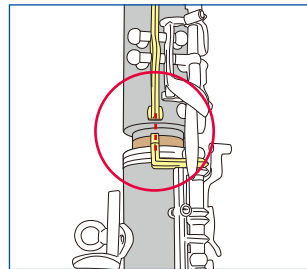


連結キーがうまく連動するように、Low Bbキーを指で押しながら接続部がまっすぐになるようにキーの位置をあわせてください。



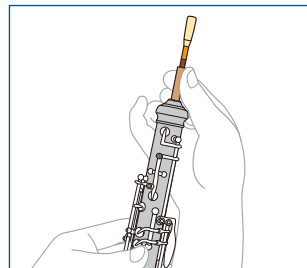
※ キーに過度な力が加わらないよう注意しながら組み立てましょう。

3. 上管と下管を組み立てます。



連結キーが正しく連動するように、キーの位置がまっすぐになるようにあわせてください。

4. リードを取り付けます。



上管にあらかじめ湿らせたリードを奥まで差し込みます。…… ※ リードの先端は大変薄くなっているため、破損しないように注意しましょう。

▶ リードは使用前に充分水に浸しましょう。



■ ピッチの調整

オーボエは楽器に合ったリードを選ぶことで正常なピッチが得られます。楽器が十分に温まった状態でピッチを合わせてください。また、リードを抜いて調整する場合は、1mm以内にしてください。

■ お手入れ

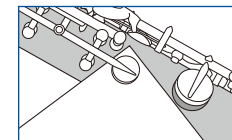
● 管内の水分を、付属の羽やスワブで取ってください。



▶ 折れた羽を使用すると管内を傷つけることがあります。羽が整ったものを使用しましょう。また、ぬれた羽やスワブ、ガーゼは楽器と一緒に保管しないでください。

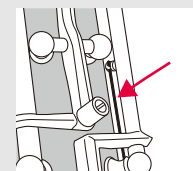
● 接合部の水を、ガーゼなどでふき取ってください。

● トーンホール、パッドに水滴がたまっている場合は、吸い取り紙などを軽く数回はさんで、水分を吸い取ってください。



● 管体、キー表面を柔らかい布で拭き、指紋や汚れを取ってください。

このとき、キーやバネに過度な力が加からないよう、ご注意ください。



▶ 針バネや金属部分で怪我をしないように注意しましょう。